

# 観光業界で働くことへの意識調査

 やまところろキャリア

## 調査結果のサマリー

- 新型コロナの影響を受けて**観光業界から離れていく方が多い**。
  - 若い世代（特に30代）、年収の高い方ほど、観光業界から離れていく傾向が強い。
  - 一方で、60代以上の世代は定年後のセカンドキャリアを見据えた時に観光業界が選択肢になっていると考えられる。
- 観光業界を希望する理由は、「これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから」「グローバルな環境で働きたいから」「仕事内容が魅力的だから」が上位になっている。希望理由の上位ランキングは、世代によって違いがあるが、年収はあまり影響していない。
- 他業界への転職を考えている方は、**「語学を活かせる」仕事を求めている**。
- 「副業」として「観光業界」に関わる仕事をするとしたら？の質問に対して、79.9%が希望をしており、**求職者の副業ニーズがある**。

## 調査結果から考えられる今後のシナリオ

新型コロナの影響を受けて別の業界への転職を考える方が多くなり、観光業界での就業に消極的になっていることが分かる。

同様の傾向がみられる米国における調査では、宿泊・飲食業界の就業者が接客によるウイルス感染を懸念していることが原因であると報告されている。従来は低賃金ではあったものの、楽しさ・やりがいとのバランスが保たれていた。しかし、ウイルス感染リスクが加わったことによりバランスが崩れた状況になっている。日本国内でも同様の傾向が発生しているものと考えられる。

一方でワクチン接種が進む米国では、観光が劇的な復活を遂げている。また、採用にかかるコスト、人件費が上昇している。おそらく、数カ月遅れで日本も同様の状況になると予想される。

## 調査結果から考えられる今後のシナリオ

観光客数の回復と、観光業就業者の減少により、いくつかのシナリオが考えられる。

1. 賃金を上げることにより、以前の観光業の就業者を呼び戻す。 → **【賃金アップ】**
2. 従来は補完的な役割だった非正規を大きな戦力とする。  
(副業希望者、学生・主婦、アルバイト・パート、派遣、業務委託、ボランティア等) → **【副業解禁】**
3. 少ないスタッフでも長時間残業で乗り切る。 → **【過労働】**
4. 上のいずれも実行できない企業は、  
従業員不足により、事業の再開が限定的になる。 → **【機会損失】**

上記のシナリオのいずれがメインになった場合でも、ウイルス感染リスクの低減、業務効率化（少人数でのオペレーション）の必要性の観点から、**観光業のDX化**が加速すると考えられる。

# 調査概要

## 目的

新型コロナウイルス感染拡大から約1年半がたったタイミングで、  
インバウンド専門の求人サイト「やまごころキャリア」に登録している求職者が、  
観光業界で働くことに対してどのような意識をもっているかを把握する。

## 調査対象者

やまごころキャリア登録会員約2万名

## 調査の時期

2021年6月11日～ 6月20日

## 調査方法

WEB上のアンケートフォームより入力

## 調査項目の概要

- ・ 転職する場合の希望業界
- ・ 観光業界を希望する理由
- ・ 観光業界での副業に関する希望

## 回答者数

274名

回答者の属性 [ 性別・国籍・年代別合計 ]

		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
性別	男性	24	50	42	47	12	0	175
	女性	13	12	23	24	20	4	96
	無回答	2	0	0	0	1	0	3
国籍	日本	24	42	50	67	33	4	220
	外国籍	15	20	15	4	0	0	54
合計	人数	39	62	65	71	33	4	274
	比率	14.2%	22.6%	23.7%	25.9%	12.0%	1.5%	

回答者の属性 [ 収入分布 ]

	200万円以下	200～400万円	400～600万円	600～800万円	800～1000万円	1000万円以上	合計
人数	62	146	50	10	6	1	274
比率	22.6%	53.3%	18.2%	3.6%	2.2%	0.4%	

回答者の属性 [ 最終学歴 ]

	中学校/高等学校 卒業	短期大学/専門学校 卒業	大学 卒業	大学院 卒業	合計
人数	8	45	178	43	274
比率	2.90%	16.40%	65.00%	15.70%	

Q1. 次回転職をする場合に、あなたの希望業界について、最も近いものを教えてください。

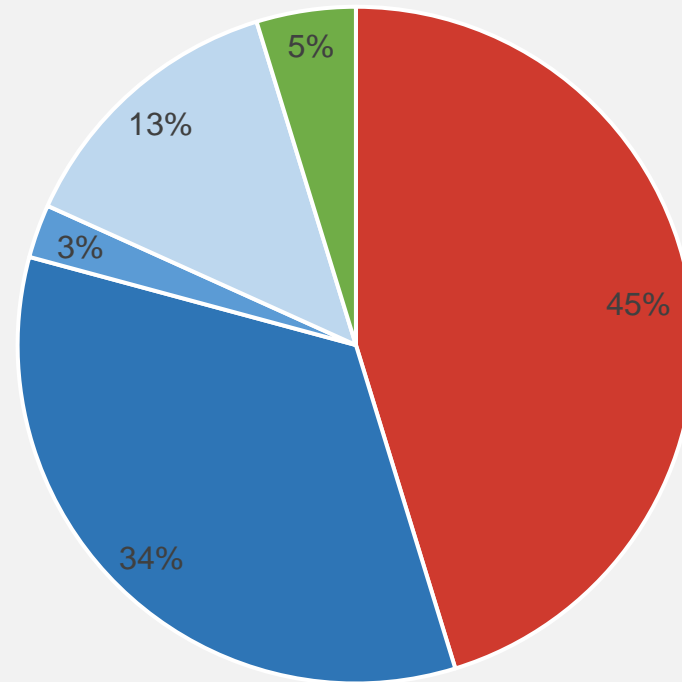
Q2. 観光業界を希望する理由を教えてください。（複数回答可）

※Q1で「観光業界」を希望すると回答した方のみ

Q3. 休日にする「副業」として「観光業界」に関わる仕事をするとしたら、あなたの希望に最も近いものを教えてください。

## 転職する場合の希望業界調査

Q1. 次回転職をする場合に、あなたの希望業界について、最も近いものを教えてください。 [回答者：274人]



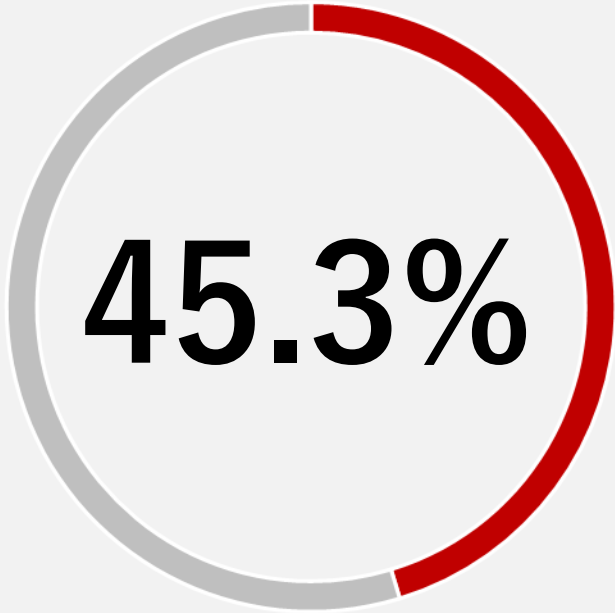
- 「観光業界」を希望する
- 「観光業界以外」で「語学を活かせる」業界が良い (例：商社、カスタマーサポートなど)
- 「観光業界以外」で「接客術を活かせる」業界が良い (例：小売業、保育、介護など)
- 上記の3つ以外の業界を希望する
- 今後、転職をする予定は一切ない

観光業界を希望：45.3%

他業界を希望：50.0%

質問項目1

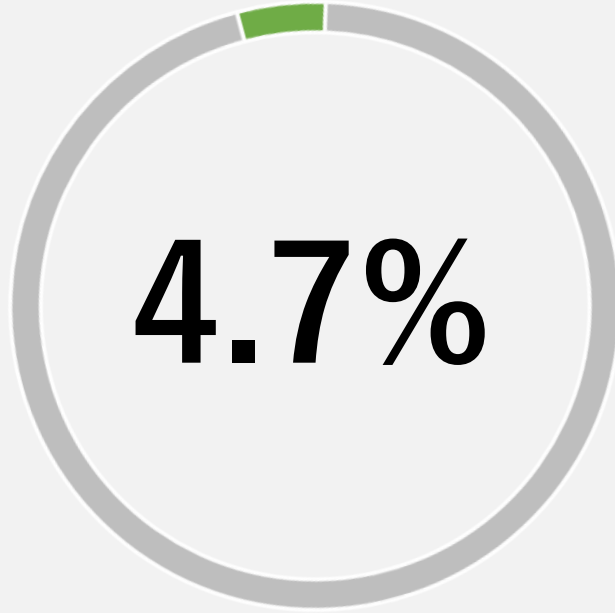
転職する場合の希望業界調査



「観光業界」  
を希望する

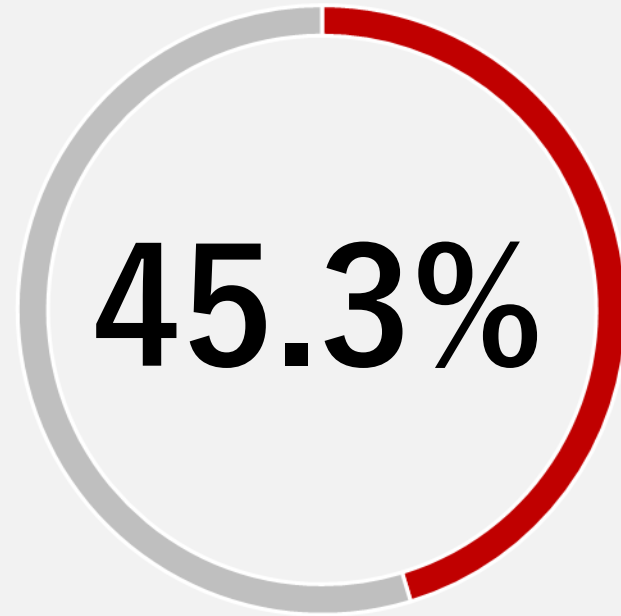


「観光業界」以外  
を希望する



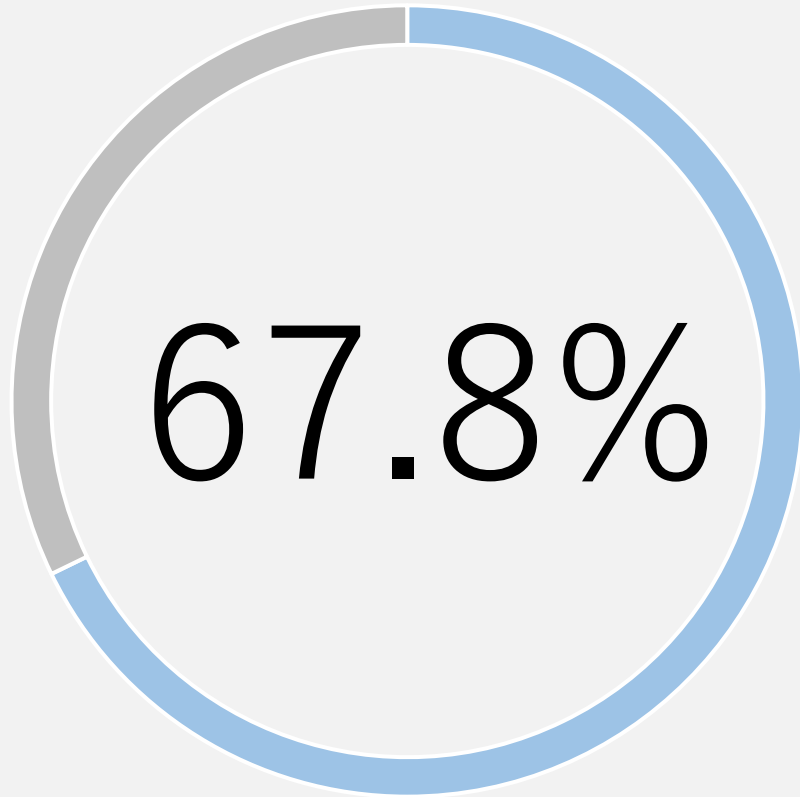
今後転職する  
予定は一切ない





「観光業界」  
を希望する

やまところキャリアの求人が  
観光関連のものが中心にもかかわらず、  
「観光業界」を希望する方が半数以下

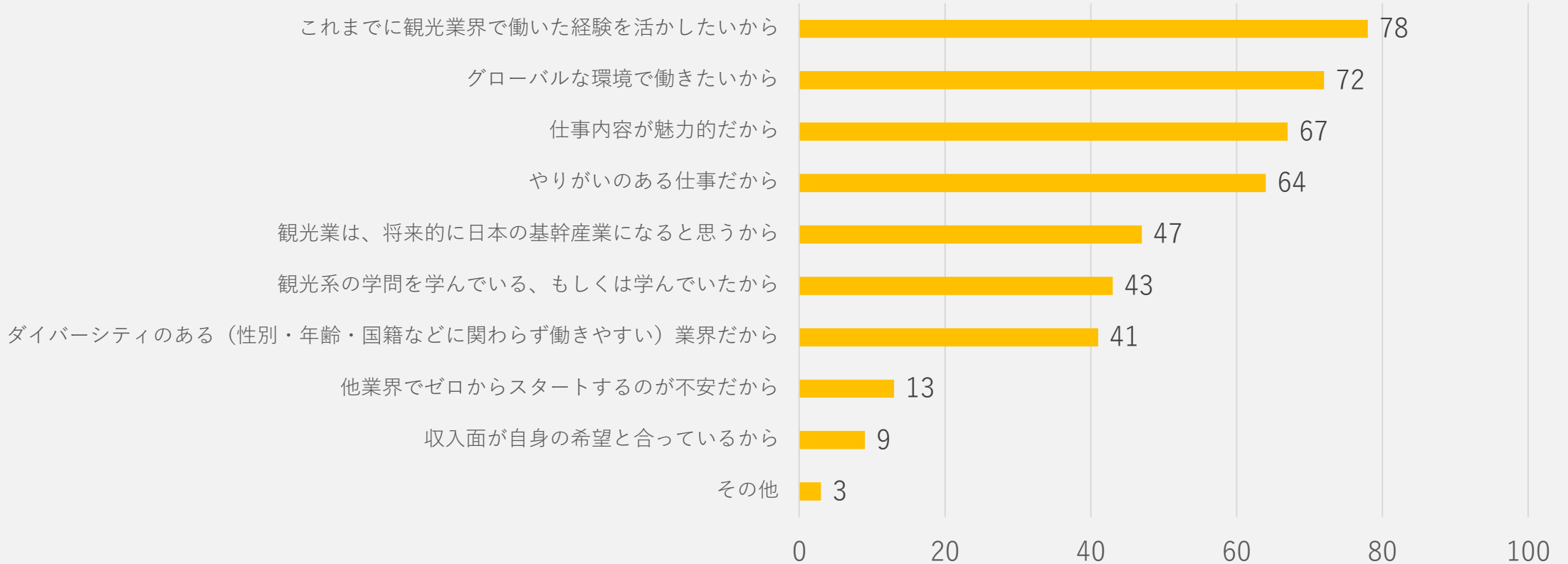


「観光業界」以外を希望する方のうち  
「語学を活かせる」業界が良いと  
答えた求職者は67.8%

## 観光業界を希望する理由

## Q2. 観光業界を希望する理由を教えてください。（複数回答可） [回答者：124名]

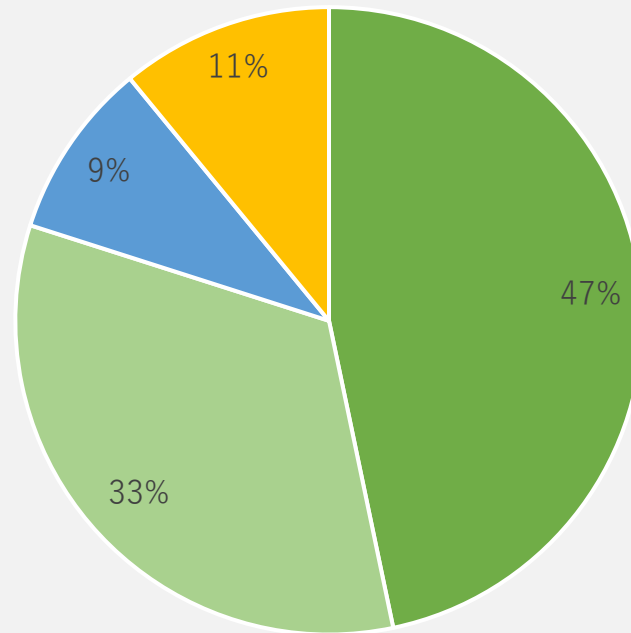
※ Q1で「観光業界」を希望すると回答した方のみ



質問項目3

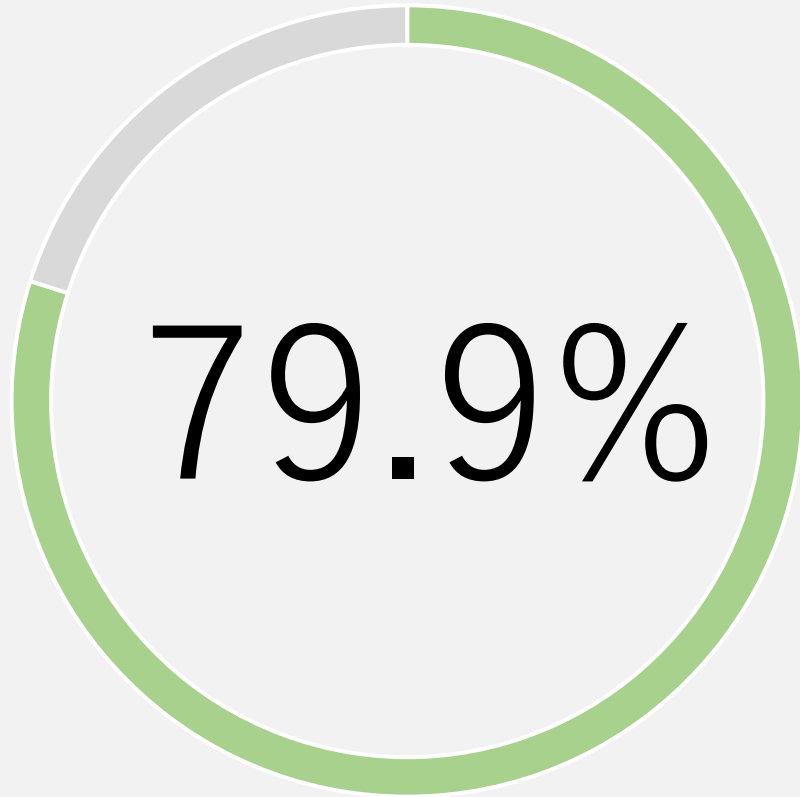
休日にする「観光業界」の「副業」に関する希望

Q3. 休日にする「副業」として「観光業界」に関わる仕事をするとしたら、あなたの希望に最も近いものを教えてください。[回答者：274名]



- 月に1～3日間、副業をしたい
  - 月に4日間以上、副業をしたい
  - 副業したいができない（本業の就業規則、家庭のご事情など）
  - 副業に「興味がない」もしくは「したくない」
- } 副業希望：79.9%

## 休日にする「観光業界」の「副業」に関する希望



休日にする「副業」として「観光業界」に関わる仕事をするとしたら？の質問に対して79.9%が希望をしていると回答

※ 「月に1～3日間、副業をしたい」

「月に4日間以上、副業をしたい」の回答の合計値。

※ 残りの20.1%の方が、「副業したいができない」

「副業に興味がないもしくはしたくない」と回答。

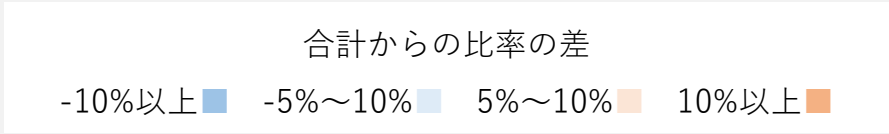
## 参考情報) アンケート回答者の属性別の集計データ

- 年代別の集計情報
- 収入別の集計情報

【年代別の集計情報】 転職する場合の希望業界調査

Q1. 次回転職をする場合に、あなたの希望業界について、最も近いものを教えてください。

	20代 (39人)	30代 (62人)	40代 (65人)	50代 (71人)	60代以上 (37人)	合計 (274人)	
「観光業界」を希望する	17人 [43.6%]	20人 [32.3%]	30人 [46.2%]	34人 [47.9%]	23人 [69.7%]	124人 [45.3%]	← 観光業界を希望する 理由は次ページに記載
「観光業界以外」で「語学を活かせる」業界が良い (例：商社、カスタマーサポートなど)	11人 [28.2%]	23人 [37.1%]	24人 [36.9%]	26人 [36.6%]	9人 [27.3%]	93人 [33.9%]	観光業以外への 転職を検討 137人 [50.0%]
「観光業界以外」で「接客術を活かせる」業界が良い (例：小売業、保育、介護など)	0人 [0.0%]	2人 [3.2%]	2人 [3.1%]	1人 [1.4%]	2人 [6.1%]	7人 [2.6%]	
上記の3つ以外の業界を希望する	8人 [20.5%]	13人 [21.0%]	7人 [10.8%]	8人 [11.3%]	1人 [3.0%]	37人 [13.5%]	
今後、転職をする予定は一切ない	3人 [7.7%]	4人 [6.5%]	2人 [3.1%]	2人 [2.8%]	2人 [6.1%]	13人 [4.7%]	



- 20代、30代の若い年代ほど「観光業界」以外の業界を希望する割合が高い。
- 60代以上の年代は、他の年代に比べて「観光業界」を希望する割合が特に高い。

## 【年代別の集計情報】 観光業界を希望する理由

### Q2. 観光業界を希望する理由を教えてください。 (複数回答可)

	20代	30代	40代	50代	60代以上	回答者のべ人数(複数回答可)
「観光業界」を希望する ※対象の世代の人数 [各世代で観光業を希望する方の割合]	17人 [43.6%]	20人 [32.3%]	30人 [46.2%]	34人 [47.9%]	23人 [63.9%]	
これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから	65%	65%	63%	59%	65%	78人
グローバルな環境で働きたいから	65%	70%	53%	44%	70%	72人
仕事内容が魅力的だから	88%	75%	40%	38%	52%	67人
やりがいのある仕事だから	82%	60%	37%	44%	52%	64人
観光業は将来的に日本の基幹産業になると思うから	53%	30%	27%	29%	61%	47人
観光系の学問を学んでいる、もしくは学んでいたから	47%	30%	37%	26%	39%	43人
ダイバーシティのある(性別・年齢・国籍などに関わらず働きやすい)業界だから	53%	30%	27%	29%	35%	41人
他業界でゼロからスタートするのが不安だから	6%	15%	10%	15%	4%	13人
収入面が自身の希望と合っているから	12%	15%	7%	3%	4%	9人

※観光業界を希望する求職者はアンケート回答者の「45.3%」。希望する方の理由を複数回答でアンケートを実施（回答者数：124人）

※各年代でチェックを入れた方の割合を表示、割合の高い回答ほど緑の濃い背景色で表示

- 20代の若い年代は、「仕事内容が魅力的だから(88%)」「やりがいのある仕事だから(82%)」の割合が大きい。
- 30代は「仕事内容が魅力的だから(75%)」「グローバルな環境で働きたいから(70%)」の割合が大きい。
- 60代以上は「グローバルな環境で働きたいから(70%)」「これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから(65%)」の割合が大きい。  
また、「観光業は、将来的に日本の基幹産業になるから(61%)」はほかの年代に比べて大きいことも特徴。
- 全年代で「他業界でゼロからスタートするのが不安だから」「収入面が自身の希望と合っているから」は観光業を希望する理由になる割合が低い。



## 【収入別の集計情報】 転職する場合の希望業界調査

Q1. 次回転職をする場合に、あなたの希望業界について、最も近いものを教えてください。

	200万円以下 (62人)	200～400万円 (146人)	400～600万円 (50人)	600万円以上 (10人)	合計 (274人)	
「観光業界」を希望する	31人 [50.0%]	61人 [41.8%]	26人 [52.0%]	6人 [37.5%]	124人 [45.3%]	← 観光業界を希望する 理由は次ページに記載
「観光業界以外」で「語学を活かせる」業界が良い (例：商社、カスタマーサポートなど)	21人 [33.9%]	53人 [36.3%]	14人 [28.0%]	5人 [31.3%]	93人 [33.9%]	
「観光業界以外」で「接客術を活かせる」業界が良い (例：小売業、保育、介護など)	1人 [1.6%]	6人 [4.1%]	0人 [0.0%]	0人 [0.0%]	7人 [2.6%]	観光業以外への 転職を検討 137人 [50.0%]
上記の3つ以外の業界を希望する	3人 [4.8%]	6人 [4.1%]	3人 [6.0%]	1人 [6.3%]	13人 [4.7%]	
今後、転職をする予定は一切ない	6人 [9.7%]	20人 [13.7%]	7人 [14.0%]	4人 [25.0%]	37人 [13.5%]	

各項目の合計からの比率の差

-10%以上 ■ -5%～10% ■ 5%～10% ■ 10%以上 ■

- 観光業を希望する方が多いのは年収400～600万円の方。次いで、年収200万円以下の方。
- 年収の高い方は観光業界への希望者の割合が低い傾向にある。 ※アンケート回答数そのものも少ない。

## 【年収別の集計情報】 観光業界を希望する理由

### Q2. 観光業界を希望する理由を教えてください。 (複数回答可)

	200万円以下	200～400万円	400～600万円	600万円以上	回答者のべ人数(複数回答可)
「観光業界」を希望する ※対象の世代の人数 [各世代で観光業を希望する方の割合]	31人 [50.0%]	61人 [41.8%]	26人 [52.0%]	6人 [37.5%]	
これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから	48.4%	68.9%	65.4%	66.7%	78人
グローバルな環境で働きたいから	41.9%	67.2%	57.7%	50.0%	72人
仕事内容が魅力的だから	41.9%	60.7%	53.8%	50.0%	67人
やりがいのある仕事だから	32.3%	60.7%	53.8%	50.0%	64人
観光業は、将来的に日本の基幹産業になると思うから	22.6%	42.6%	42.3%	50.0%	47人
観光系の学問を学んでいる、もしくは学んでいたから	32.3%	32.8%	42.3%	33.3%	43人
ダイバーシティのある（性別・年齢・国籍などに関わらず働きやすい）業界だから	9.7%	41.0%	46.2%	16.7%	41人
他業界でゼロからスタートするのが不安だから	6.5%	8.2%	15.4%	33.3%	13人
収入面が自身の希望と合っているから	0.0%	11.5%	7.7%	0.0%	9人

※観光業界を希望する求職者はアンケート回答者の「45.3%」。希望する方の理由を複数回答でアンケートを実施（回答者数：124人）

※収入別にチェックを入れた方の割合を表示、割合の高い回答ほど緑の濃い背景色で表示

- 年収にかかわらず、「仕事内容が魅力的だから」「グローバルな環境で働きたいから」「仕事内容が魅力的だから」「やりがいのある仕事だから」が観光業を希望する理由として上位に挙がってきている。
- 年収600万円以上の方は、「観光業は、将来的に日本の基幹産業になるから(50.0%)」で年収600万円以下の方より高い。
- 年収200～600万円の方は「ダイバーシティのある業界だから」が比較的高くなっていることも特徴。
- 年収が低い方に比べて高いの方が「他業界でゼロからスタートが不安」と考える率が高くなっている。